

86名が一同に会し卒業50周年と古希の祝い

昭和31年卒同期会

秋田市立高校を卒業してからの50周年と古希の祝いを兼ねた私たち昭和31年卒の同期会は総勢86名参加のもと、藤原タカ・藤田幸雄・山崎守の各先生と伊藤純子先生（母校同窓会担当）並びに後藤慎隆同窓会長をお迎えして9月15日（金）午後2時から、秋田市大町の第一会館本館で盛大におこなわれた。

全員が揃ったところで記念写真を撮影。富谷赳幹事の開会宣言に続いて物故者に黙禱を捧げた。

幹事を代表して佐藤栄一より参加状況の報告があり、ついで高校卒業50周年と古希の祝いを兼ねた同期会である旨の挨拶があった。また、同期会は5年を節目に開くことを基準にしており、今回は6回目にあたる。したがって次回開催も5年後を予定しているが、たまたま4年後に母校創立90周年の祝いがあることから検討させて欲しいとの意向が述べられた。次いで伊藤先生から母校の現状について報告がなされ、また来賓の藤田・山崎両先生と後藤一交会会長から挨拶を頂いた後、藤原先生の音頭で乾杯、懇親会に移った。

懇親会は、各クラス毎にテーブルを囲み近況や昔の思い出に花が咲いた。

懇親会の余興として、「浅野梅若社中と児玉恵子さん」の秋田民謡、続いて、慢芸家の梅丸たま子さんの漫談があって懇親会の盛り上げに花を添えた。

5時過ぎ、鈴鹿市から参加した若木和夫さんの音頭で中締めをし、第一次会を終了。

その後、二次会場として設定された川反の「和洋ダイニング川反」へ移動、カラオケに興じながらさらに旧交を温め、一層盛り上がりを見せる中、次回の再会を約束して8時頃散会となった。

当日、東京一交会から参加した同期生は次の15名。（敬称略）

安藤貞子（上尾市）、加藤満（国分寺市）、河野昌子（三郷市）、佐藤純一（新潟市）、佐藤忠次（三島市）、佐藤昌宏（目黒区）、進藤百合子（富士宮市）、進藤 亘（練馬区）、鈴木勝美（横浜市）、長谷川啓（練馬区）、原 幸（調布市）、福田佳代子（昭島市）、藤原一子（千葉市）、松山昌一（四街道市）、道山恵美子（東久留米市）